活動状況のお知らせ

8月 活動報告		
5	土	波の音こども園夏祭り
6	日	理科教室・むらさき野苑夏祭り
8	火	スマイルポイント説明会
		デイハウスあかり定例会・きらりデイ定例会
9	水	地域カフェあかり
13	日	樽水区盆踊り
16	水	感謝まつり実行委員会
17	木	訪問担当者会議
18	金	運営委員会
21	月	デイ食事定例会
22	火	生活支援第1層協議体会議・ヘルパー部会
23	水	パン作り教室・波の音こども園との会議
		サービスラーニング3名
24	木	サービスラーニング3名
25	金	サービスラーニング3名
28	月	きらり会議・サービスラーニング3名
29	火	介護保険事業者説明会
		サービスラーニング3名
30	水	フードバンク意見交換会
		感謝まつり実行委員会・サービスラーニング3名

9月 活動報告		
1	金	認知症家族介護企画者研修・ケアマネ部会
4	月	きらりデイ定例会
8	金	鬼崎中ボラ３名
13	水	地域カフェ・鬼中職場体験9名
16	土	デイハウス定例会
20	水	感謝まつり実行委員会
21	木	常滑市三部会
22	金	長野　NPO交流下見
		デイハウスドライバー研修（22，23，25）
25	月	サポちた理事会・きらり会議
27	水	運営推進会議（デイハウスあかり・きらり）
28	木	役員会
29	金	運営委員会



			8月	9月
たすけあい	在宅・子育て	活動時間	１４６	１３７
		利用者数	３２	３５
	移　動	活動時間	１１２	１１４
		利用者数	３７	３８
介護保険	訪問介護	利用時間	６５９	６４４
		利用者数	９３	９６
	居宅介護支援	利用者数	８５	８６
	あかり	利用者延数	２２３	２３６
	きらり	利用者延数	１３９	１５０
障がい福祉等サービス		利用時間	１５９	１４１
		利用者数	２９	２９
地域交流	おいで屋	参加人数	３９	６７
	きらり	参加人数	４９９	５６７
	傾聴ボラ	利用者数	４５	４７

会員数（１０月２０日現在）	
正会員	９３名
賛助会員	１３８＋３団体
利用会員	９１名
合　計	３２２＋３団体

賛助会員　（１０月２０現在）

竹内　光子	後藤　溌子
	〈順不同・敬称略〉

これからもどうぞよろしく
お願いいたします。

ご寄付を
ありがとうございました

あかりはいろいろな方のお力をいただきながら活動しています。
大切に使わせていただきます、ありがとうございました。
今後ともよろしくお願いいたします。

発　行
常滑市塩田町2-135
特定非営利活動法人
あ　か　り
TEL/３５－４１８５
FAX/３５－６８６２
http://akari-npo.jp/
２０１７年１０月
９１号

あかり

第８回　あかり感謝まつり

楽しく築こう　地域のわ

楽しい一日を　お過し下さい！

日時　　平成２９年１１月１２日（日）１０：００～１４：００
場所　　街かどサロン　きらり　常滑市塩田町１－１５５
問合せ先　☎３５－４１８９（あかり事務所）

ふるまい

朝から煮込んだ愛情いっぱいのルウを、〇〇ライスにたっぷりかけた美味しいカレーライス❣❣

バザー

※バザーは有料です。
地域の人気店の味を楽しんでください。

〇だんご屋さん
〇和菓子　　稲垣屋さん
〇とりめし・他　　魚豊さん
〇焼きそば　　樽水区
〇野菜・果物　　地域の農家さん
〇パン・スイーツ　　きらり

イベント

フォークダンス・さをり織り体験・
活動展示・ゲーム・など

介護の相談コーナーもあります。

催し物ご案内　《日・祝日は休み／9:30～15:30までオープン》

☆ティールーム：　今年度より「水、土曜日」を街かどサロンとしてオープンしています。セルフサービスですが、色々な飲み物(￥100)の準備があります。ギャラリーを鑑賞したり、お仲間とのお話し合いの場所としてご利用ください。

☆ギャラリー

虹彩会油彩画展	１０月３０日（月）～１１月２４日（金）
さをり織り“自由に楽しむさをり展”	１１月２７日（月）～１２月２２日（金）
青海ふれあい“あれから20年”	Ｈ３０年１月９日（火）～２月２日（金）
編み物倶楽部作品展	２月５日（月）～３月２日（金）

年末年始のお休み；ティールーム／12月27日(水)～1月8日(月)　・　教室／12月29日(金)～1月4日(木)

問い合わせ先；ＮＰＯ法人あかり　　ＴＥＬ；３５－４１８９

あかりの２つのデイサービスの、ある日の出来事です

運営推進会議を行ないました

平成28年４月１日以降、利用定員18人以下の通所介護(デイサービス)事業所は「**地域密着型通所介護**」へ移行され、移行後、「**運営推進会議**」を年２回行うことが義務付けられ、デイハウスあかりと短時間デイきらりも９月27日にティールームで行った。今年度１回目。次回は年度末３月頃を予定している。
参加を呼びかけたのは包括支援センター、市役所高齢介護課、地域の民生委員、地域の区長さん、利用者家族の方々。９名の出席者があり、報告のあと意見をいただいた。
事業の上半期分のサービス提供状況や行事・活動報告をパワーポイントを使って説明した。ボランティアの方々や波の音こども園の子どもたちの交流、レクレーションの取り組みもパワーポイントを使って見ていただいた。
短時間デイきらりではデイサービスと同時間帯に隣のスペースでは色々な教室を行なっていたりする。利用者さんと、ボランティアさんも職員も一緒になって雀卓を囲むようなこともある。一見しただけでは利用者さんと他の参加者との区別などないように見える。
波の音こども園の建物の廊下を散歩して子どもたちと手を振り会う場面も日常のこと。
そんな普段の情景が会議の出席者にはとても新鮮に映ったようで、そのことが日常に慣れた職員には新鮮だった。ヒヤリハット事故報告では、地域は細い道が多く、小さな擦り傷が車につくこともある。道路の選び方を変えたことなど、職員間で対策を話し合ったことも報告させてもらった。
地域の人たちと交流することであかりの存在も身近に感じて頂けるようになるのではないか。これからも地域の方たちに応援して頂けるようなデイサービスを目指していきたい。　　きらり管理者　家田　圭悟

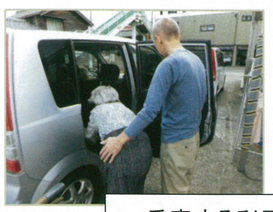



会議場の様子


雀卓を囲む利用者とボランティアと職員

毎日の気づきを大切に

新しい利用者さんや新人ドライバーさんが増え、デイハウスあかり独自の運転者技術研修を行いました。
利用者さんのお体の状態を頭に描き、送迎コースや乗車位置、送迎の順番などを検討しました。送迎途中の危険個所の確認や安全の確保ができる駐車場所にも気を配ります。
昨今、デイサービスでの事故報道などを目にしますと、毎日の送迎の重要性に改めて気づかされます。
移送サービスと共通のドライバー研修は折々に行なってはいますが、今回はデイ独自で行いました。毎日の送迎の気づきからドライバーからも意見が出て、送迎表も改めてり直し、連絡方法も再確認できて、なかなか意義深い研修ではなかったかと感じています。
デイハウスあかりの管理者になって半年過ぎました。
利用者さんだけを見ていればよかったころとは違い、全体を注意して見渡していかなければならない立場になりましたが、まだまだ試行錯誤です。
利用者さんが気持ちよく過ごせるように、ドライバー研修もその一環です。
利用者さんだけでなく職員も、楽しく充実して働けるデイサービスを目指して、ファイト！です。
デイハウスあかり管理者　小久保　由加利





乗車する利用者さんと援助する職員の様子

生活支援コーディネーターです

昨年から国の施策の一つとして介護予防・生活支援の基盤整備の推進を目的として、設置された“生活支援コーディネーター”。今年４月から市からの委嘱により常滑市を北、中、南部に３区分した中部地区のコーディネーターとして、あかりから参加しています。

その活動内容は、
「支えあい、たすけあいの輪を広める地域のネットワークづくり」
「地域の皆さんが住み慣れたところで、安心して暮らしていくための仕組みづくり」
「地域の困りごとを把握して、足りないサービスを補うお互い様の関係づくり」
あれっ！どこかで聞いたような言葉。そうです！あかりの理念そのものなのです。
今まであかりが掲げてきた「困ったときはおたがいさま」の理念、実践してきたことがまさに地域包括ケアを構築していくうえでの生活支援コーディネーターの役割ということなのです。
地域のお困りごとを吸い上げ、ボランティアによる生活支援の輪を広げていくお手伝い、
サロン、カフェなどのみんなの居場所作り、運動教室などの拡充で、みんなが生き生きと暮らしていける地域を目指します。
その壮大な理念のもと、今は市内のサロンめぐりをしつつ、地域の良さを知り、地域の課題を考えていく作業に取り組んでいます。
取り組んでいく中、「サロンに参加したい」「買い物に出かけたい」「病院に診察に行きたい」と思いながら移動手段がないことで家にこもっている方の存在が気になります。閉じこもりにならないような手段を講じていく必要を強く感じています。　　生活支援コーディネーター　林　眞知子

各地域のサロンの一コマ


介護予防体操


七夕飾りづくり


歯科医による健康講話

新しいきらり教室です

；小物つくり教室の紹介

毎月木曜日と土曜日に５日間、さをり織りを２０名ほどで楽しんでいるが、織り上がった布が、ベストやスカートなど、作品になった暁のいわゆる端布を利用して小物つくりをしてみることにした。
１ヶ月に一度（第３火曜日）１０時から２時間、さをり織りをしている人に限らず、手づくりに興味のある方が参加して小物つくりもしている。みんなでアイディアを出し合い、毎回たのしんでいる。
たとえば、切れ端でブローチ、アレンジＴシャツ、小袋、マスコットなどが出来上がっている。
時間はあっという間に過ぎて、出来上がったばかりの品を手に早速試してみることが出来る簡単さは一番の魅力だ。ひとり一人の個性と発想の豊かさに大満足だ。






今作ったばかりのブローチをつけてみる参加者と作業途中の色々な小物たち